



今月末には同窓会入会式が実施されます。各地の同窓会では4年ぶりに活動が再開されています。

支援のバトンをつなぐ同窓会

コロナ禍の3年間は、各同窓会支部でも一堂に会しての事業を自粛されてきました。今年度はようやく参集型の会を開催することができるようになり、米工会長と校長も各支部の総会に参加しました。各支部では、お互いの元気な様子を確認されていました。

米工同窓会には現在、関東米工会、東海米工会、関西米工会、広島米工会、大山町米工会の5支部があります。同窓会は米工卒業生のネットワークです。生活の面でも仕事の面でもお互いに助け合い、また、先輩から受けた支援を後輩へつなぐ、米工卒業生の共助の組織です。

先輩方は後輩のみなさんが知人の少ない県外の地で不安なことがないのかと心配され、それぞれの地域に就職、進学した米工生をバックアップしたいと考えていらっしゃいます。

また、広島米工会では、メンバーが広島鳥取県人会のスタッフを担当されていることもあり、他校の卒業生や鳥取に縁のある広島在住の方々とのネットワークも構築されています。この広島鳥取県人会には女子会が設立されました。広島に就職、進学する女子生徒には心強いことです。

人からいただいた恩は与えてくださった方に返す返し方もあれば、他の人に与える返し方もあります。そのように支援のバトンをつないでいくのが同窓会や県人会の一つの大きな意義だと思います。

同窓会で、災害時に工業高校での学びを活かして地域に貢献するため、過去に活動していた米工のアマチュア無線局(JA4YZV)を復活させたいことを話しました。携帯電話が普及し、無線局は大きく減



寄贈いただいた無線機一式

りました。しかし、非常時には電話やインターネットへの接続が寸断されるため、無線は有効な通信手段となります。東北での震災以降、行政職員がアマチュア無線の免許を取得する動きも報告されています。この度、この取り組みに賛同いただいた広島米工会の伊藤様から無線機一式を寄贈していただきました。米川沿いには米子アマチュア無線赤十字奉仕団の基地局があります。ここでも米工卒業生の方が活躍されていますので、ご指導いただきながら非常時に対応できる体制を整えていきたいと思っています。

校長 松川 明義

【行事予定】2月27日(火)：電気科出前授業

2月29日(木)：卒業式予行、表彰式、同窓会入会式

3月1日(金)：卒業式



米工 HP